

# 改築・整備基本方針実現に向けた提案

株式会社 昭和設計 東京事務所

# 西宮中学校改築及び（仮称）コミュニティふらっと宮前整備基本方針 全体像

## 目指すべき学校像・施設像

### <ビジョン>

**【ビジョン1】**  
自主・自律、文武両道の校風を支え、将来を見据えた多様な教育活動に対応できる学校づくり

**【ビジョン2】**  
地域に寄り添い、環境に配慮した安心・安全で調和のとれた拠点づくり

### <目標>

目標Ⅰ 多様な学びと質の高い環境で、全ての生徒が共に過ごし、主体的で深い学びを追求する学校づくり

目標Ⅱ 生徒の生活環境に配慮し、学業と放課後の活動を支える西宮中学校の特色を備えた学校づくり

目標Ⅲ 生徒数の変化や教育課題に柔軟に対応し、将来にわたって使い続けられる学校づくり

目標Ⅳ 教職員や支援者が活動しやすく、交流に配慮した施設を備えた学校づくり

目標Ⅴ 地域の意見を踏まえた、安心・安全地域の拠点として機能する学校づくり

目標Ⅵ 環境に配慮し、周辺環境と調和した学校づくり

### <取組>

取組A 個人、少人数、学級、学年単位での学習活動など、多様な学習形態に対応できるスペースの確保と、自主学習などの学習環境を、生徒が自己選択できる施設計画

取組B ユニバーサルデザインを取り入れ、全ての生徒が安心・安全で快適な環境で学習活動に取り組める施設計画

取組C 学校図書館と校内情報ネットワークを中心としたラーニングセンター機能を充実させ、学習を深化させる「学びの場」の整備

取組D 西宮中学校の活発な学校行事や部活動、授業等の教育活動を行うことができる体育館や校庭スペース等の確保と適切な素材を使用したグラウンドの整備

取組E 生徒と教職員・生徒同士が互いにコミュニケーションを日常的に円滑にとれるようなスペースの確保と環境の整備

取組F 転用のしやすさ等も考慮に入れ、将来生徒数が減少した際も時代のニーズに合わせて活用できる施設計画

取組G 生徒数の増加や新たな教育施策にも対応可能な、多目的室等を配置した施設設計

取組H 誰もが使いやすい施設となる、簡素で機能的な施設設計と維持管理コストの削減を目指した施設計画

取組I 授業準備や授業、生徒指導がしやすく、教職員の働きやすさに配慮した機能的な施設計画

取組J P T Aや学校支援本部をはじめ、学校運営や教育活動を支える支援者の活動に配慮した施設計画

取組K 建物の安全性・耐震性を重視した施設の整備

取組L 震災対策所の運営や、地域や生徒が参加する防災訓練等を円滑に行うことができる施設の整備

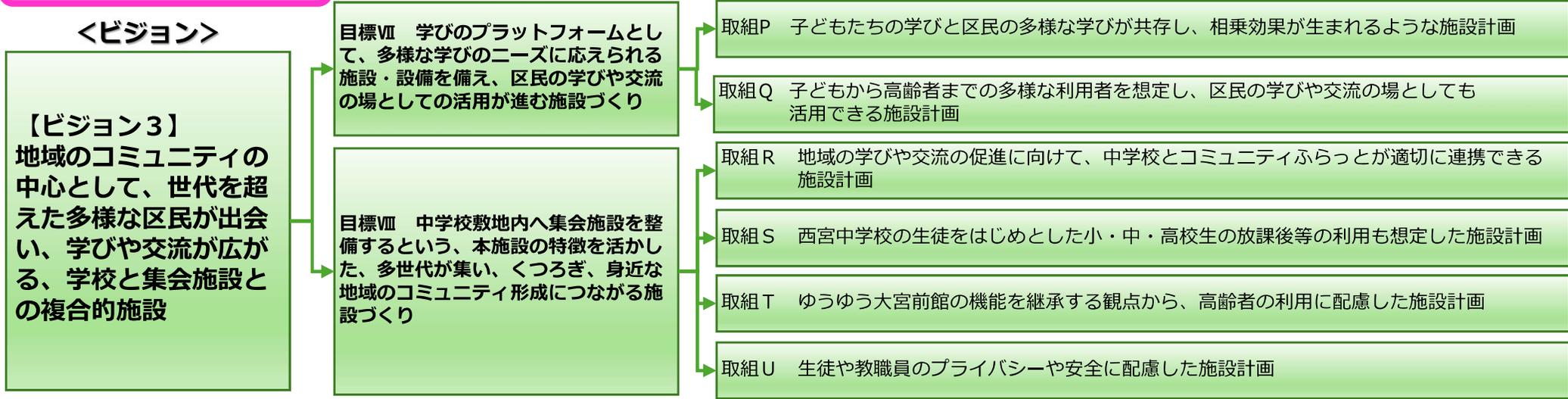
取組M 災害時に地域住民を受け入れるための避難スペースや防災井戸、マンホールトイレ、防災倉庫等を敷地内に設け、地域防災拠点としての機能の整備

取組N 落ち着いた住宅街にある公共施設としてふさわしい、周辺の住環境とも調和した施設計画

取組O 環境負荷を低減する設計とエネルギー効率の良い設備の導入を進め、地域社会に調和した持続可能な学校運営を実現できる施設計画

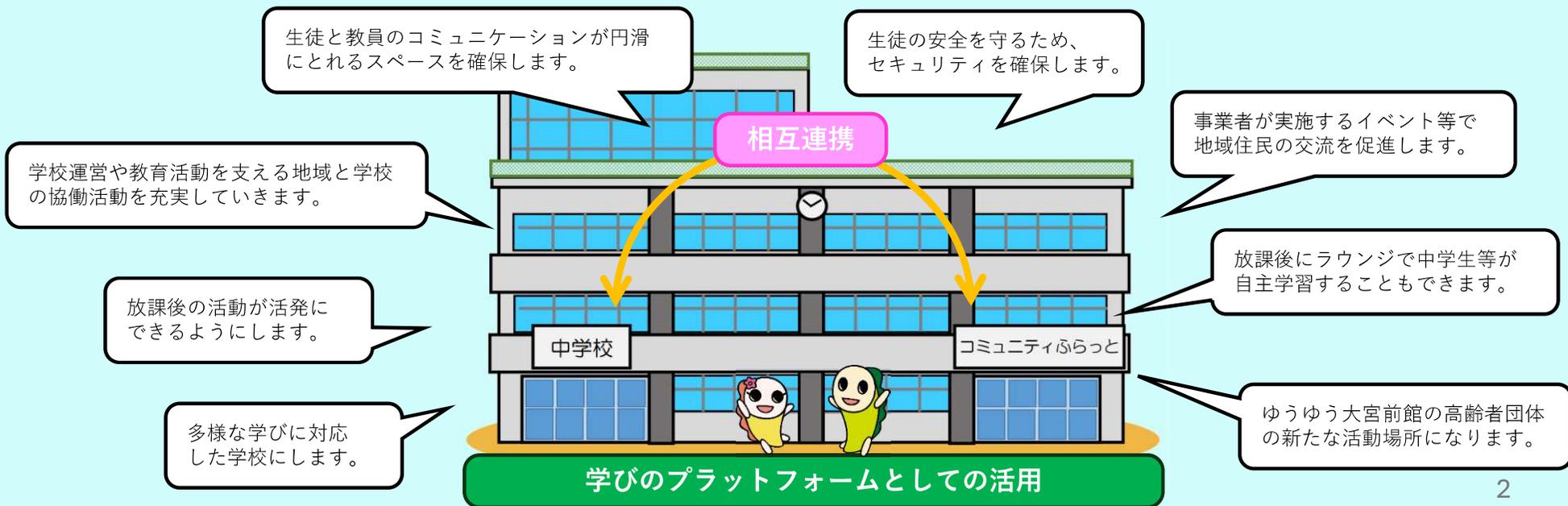
# 西宮中学校改築及び（仮称）コミュニティふらっと宮前整備基本方針 全体像

## 目指すべき学校像・施設像



## ■西宮中学校・（仮称）コミュニティふらっと宮前の整備イメージ

学校とコミュニティふらっとが連携し、中学校の教育環境の向上を図るとともに、地域住民の学びや交流を育む施設を整備します。



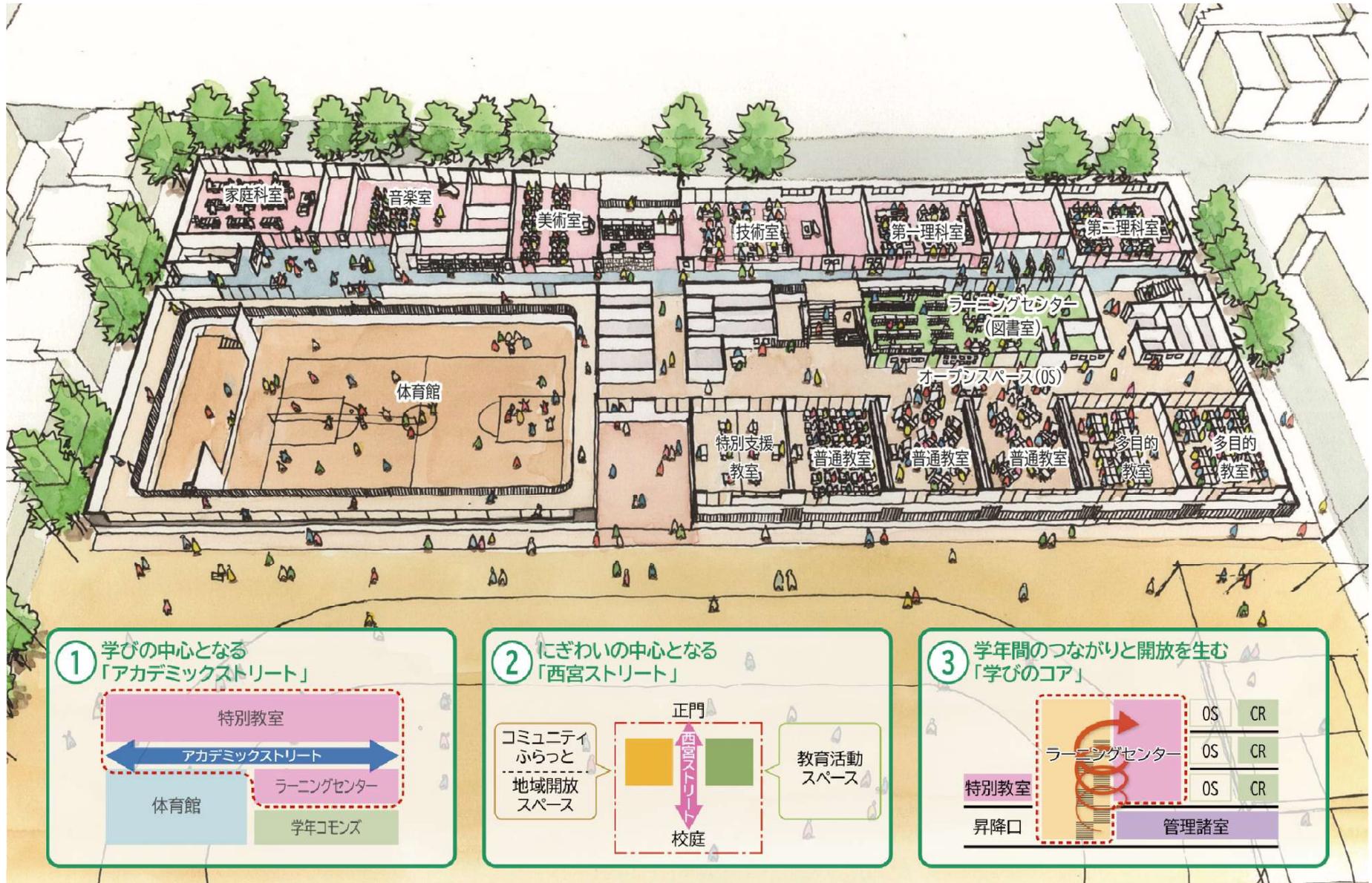
## 改築・整備基本コンセプト

「みんなのしあわせを創る杉並の教育」を実現する西宮中学校の  
教育目標である 自主・自律の教育を支えるみんなの学び舎

変化の激しい社会の中で、「自分らしく豊かに生きるよりどころ」となる教育の場を目指します。専門教育の軸「アカデミックストリート」と活動の中心軸「西宮ストリート」、学年間のつながり「学びのコア」が立体的に交差する学校で、生徒が主体的に学び、地域と交流し、自己を表現する力を育む、みんなが共に教育を創る学び舎を実現します。



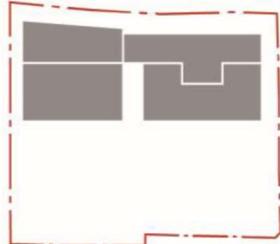
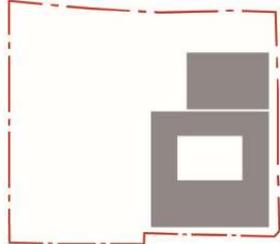
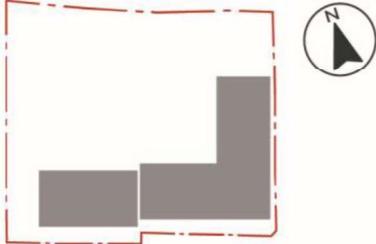
区内で初めての複合化のカタチとして、  
 これからの学校とコミュニティ施設の在り方を多角的に検討し、  
 地域の学び舎としてのプロトタイプを、皆さんと一緒に作りあげます。



※図案は具体的な設計内容を示したものではありませんので、参考としてご覧下さい。

# 配置計画検討案

・校舎は北側配置を提案

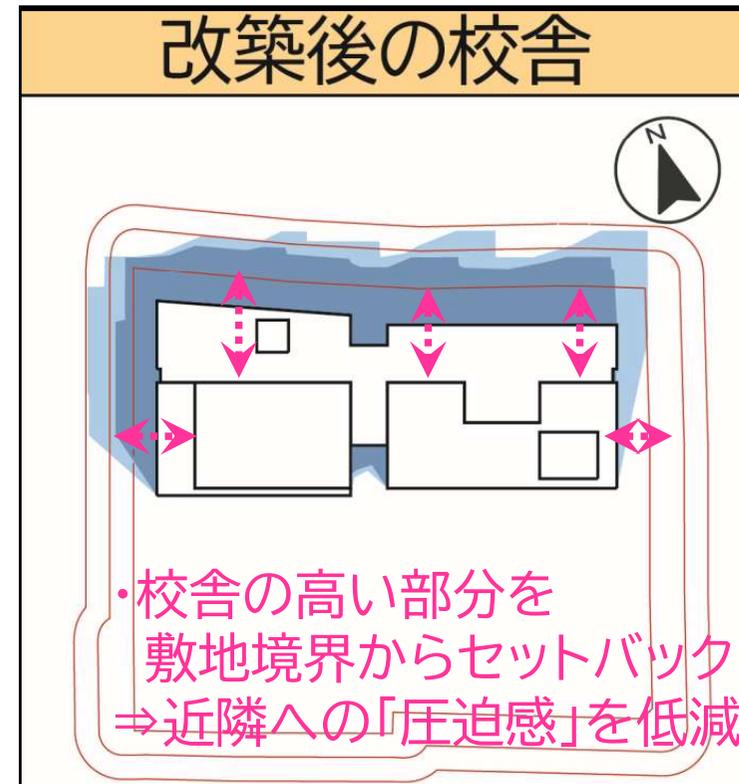
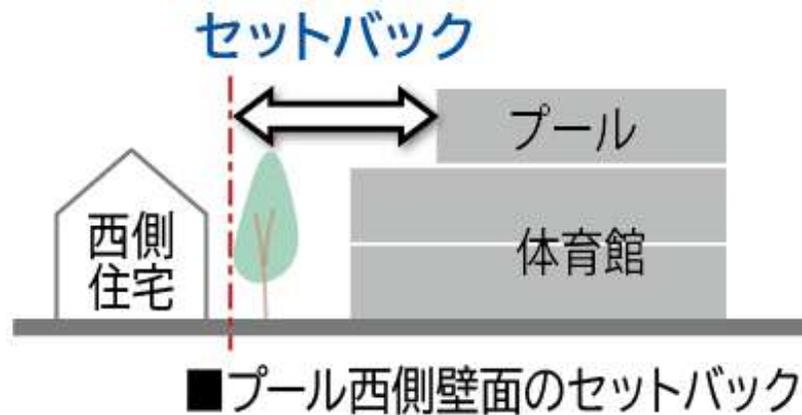
	北側配置	東側配置	南側配置
評価軸			
教育環境	南側教室	西側教室	南・北側教室
敷地への出入り	北側	東・北側	東・北側
周辺環境への配慮	従来と同じ	南・東に圧迫感	南・東に圧迫感
仮設校舎の有無	仮設あり(一部)	仮設あり	仮設なし
工事車両動線	北側	北側	南側

■配置比較表

## 教育・周辺環境に配慮した配置計画

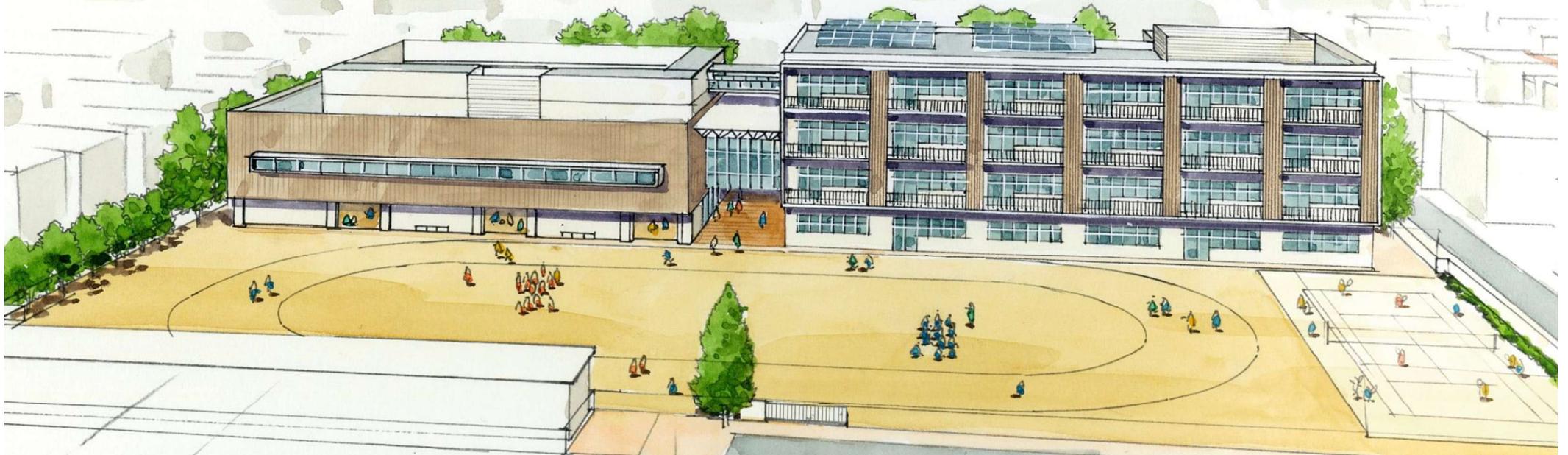
周辺環境に配慮し、設計を行います

・近隣への「日影」の影響を改善



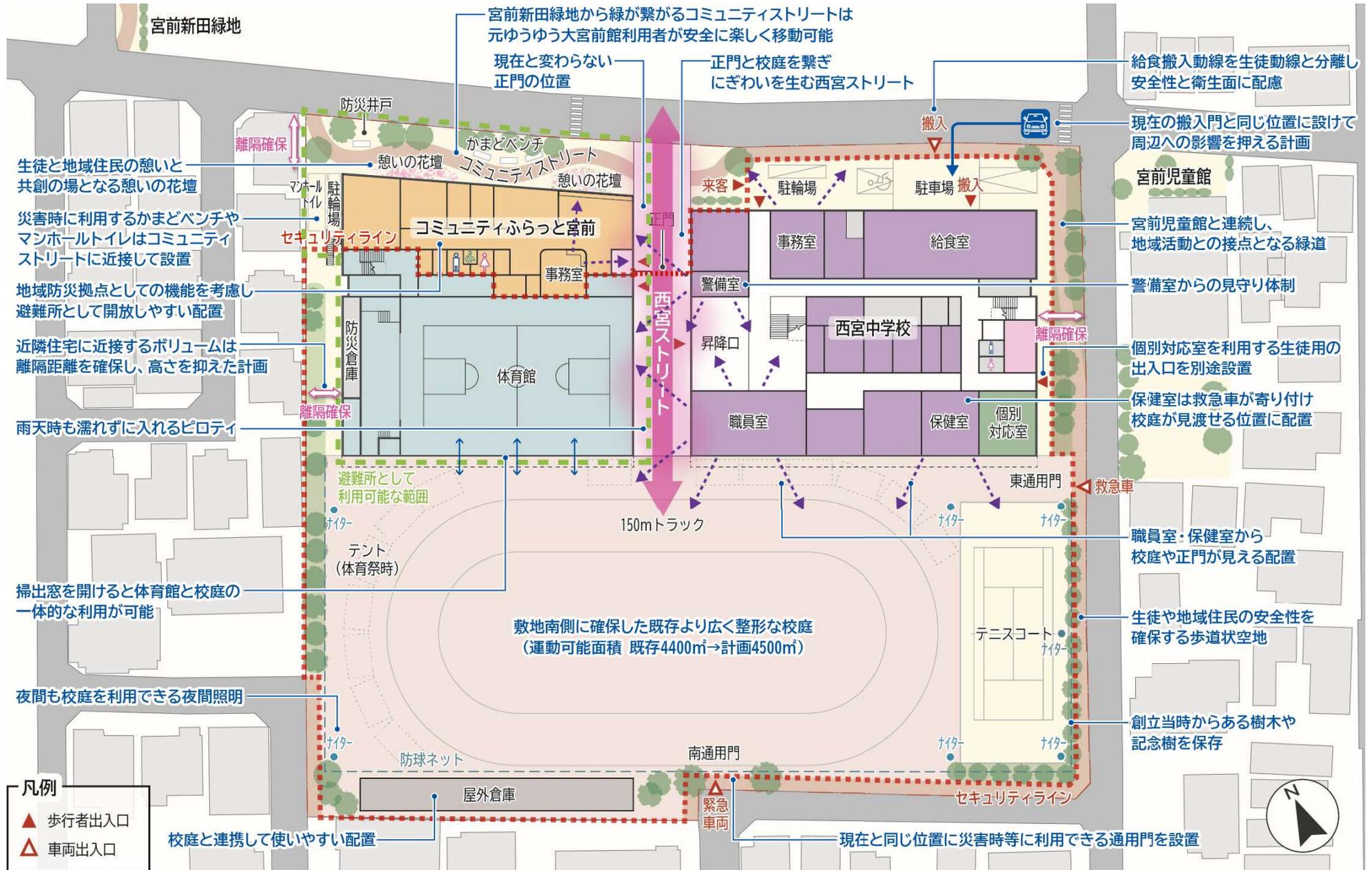
■日影の比較

- ・既存樹木は、できる限り保存活用
- ・校庭…既存より広く、整形でまとまりある形  
部活を考慮し、競技の多様性やコスト面から「土系舗装」を提案
- ・校舎…4階建て



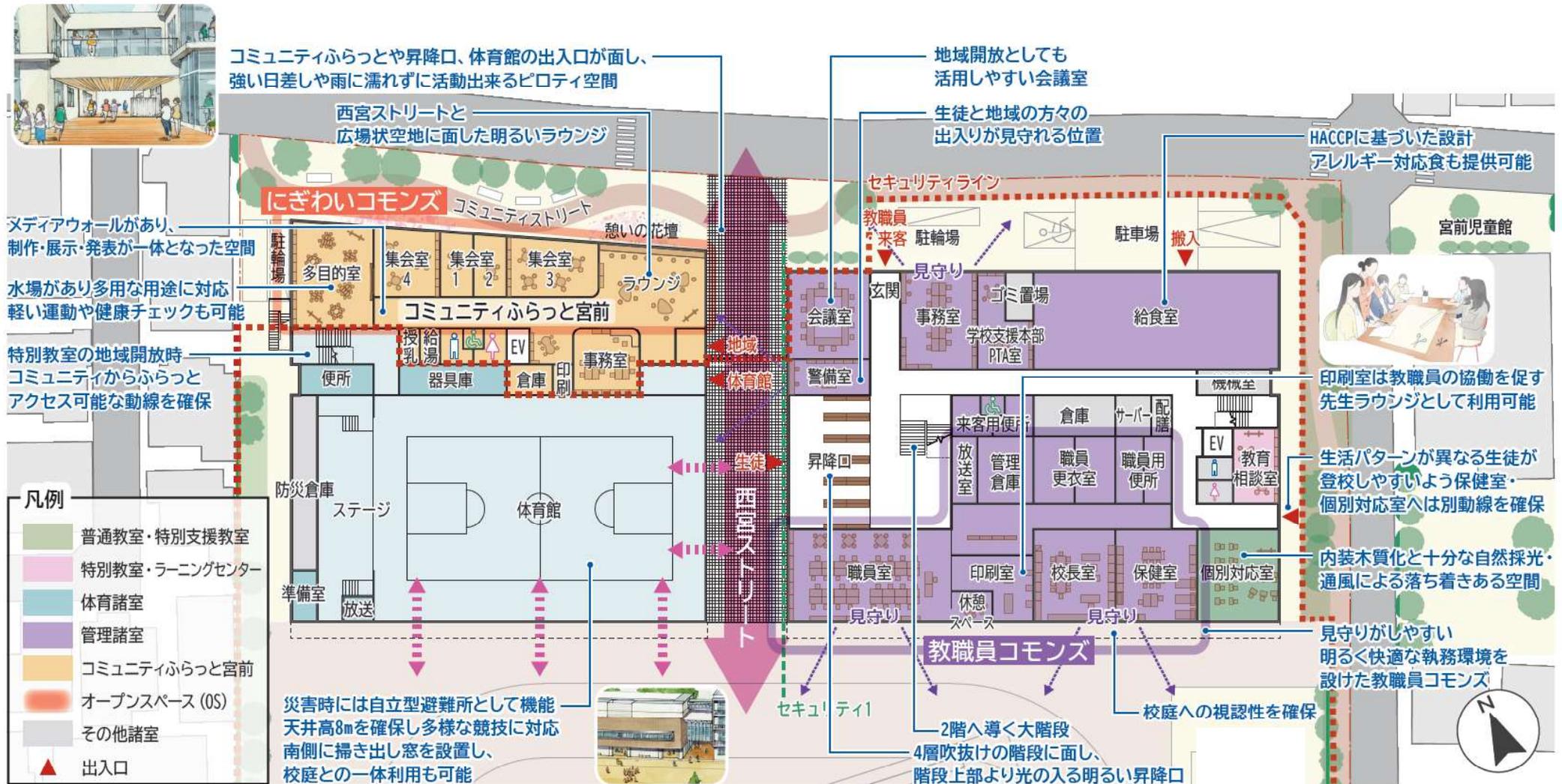
- ・校庭の砂埃対策として  
防塵ネットと散水設備を導入、保水・防塵性の高い仕上げを採用

# 配置計画



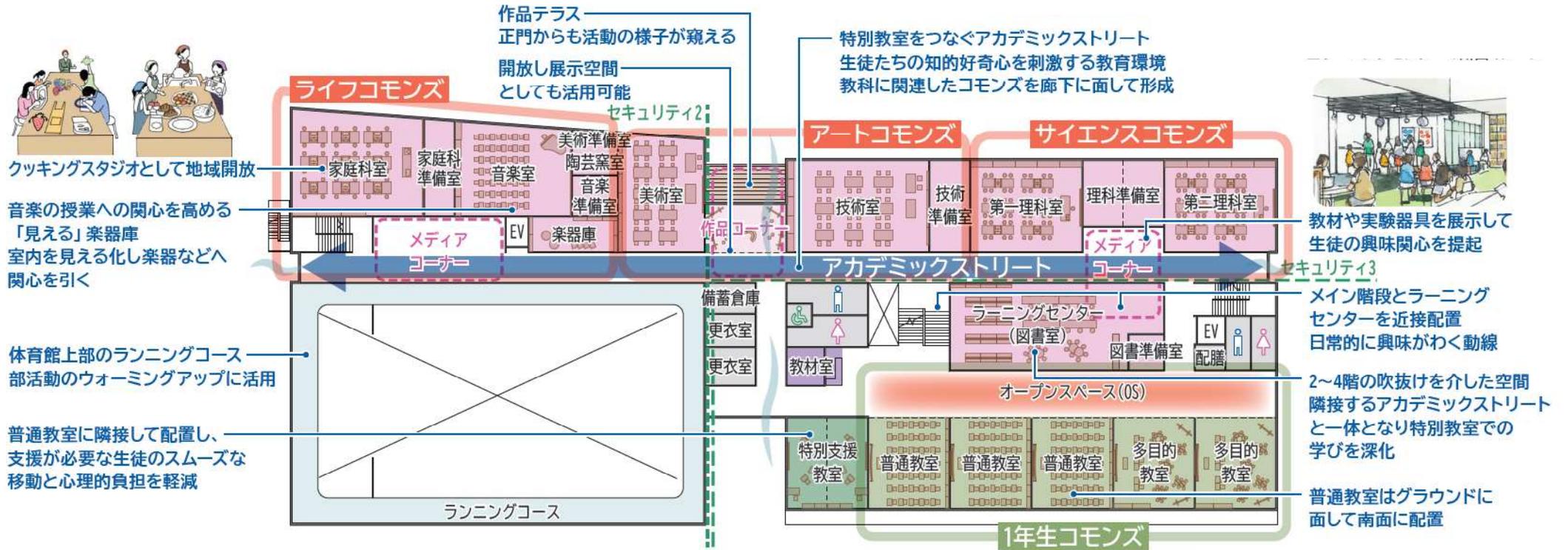
※図案は具体的な設計内容を示したものではありませんので、参考としてご覧下さい。

# 平面計画



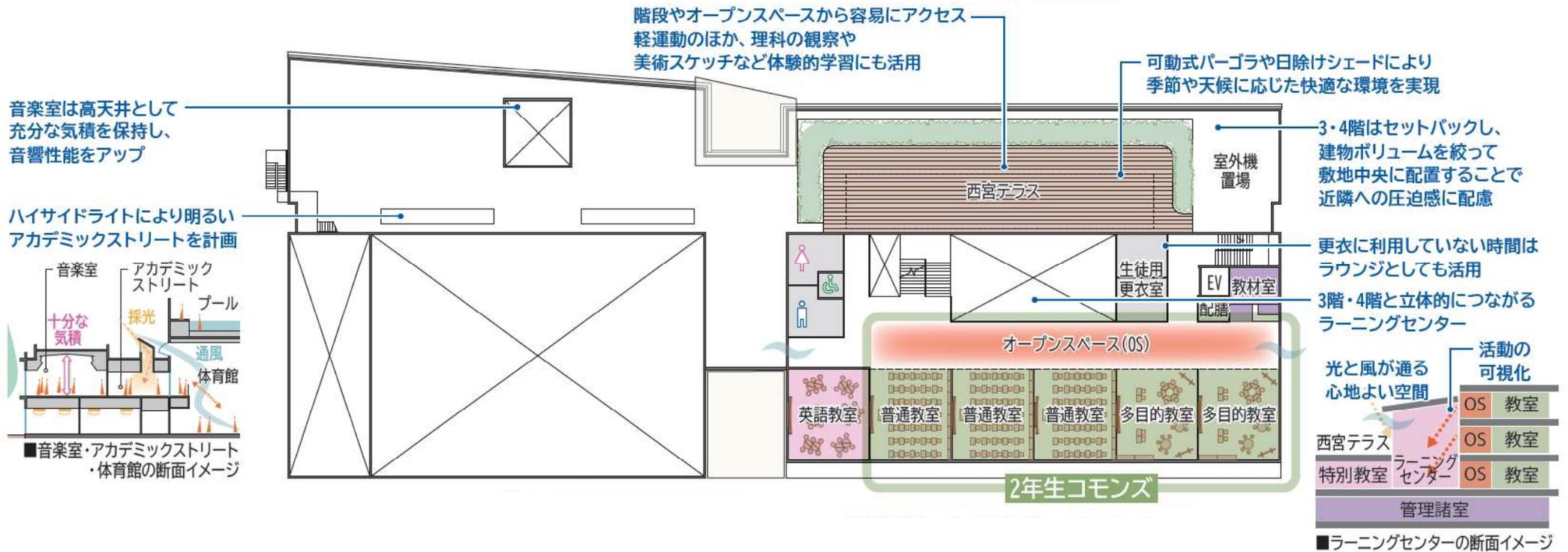
1階

# 平面計画



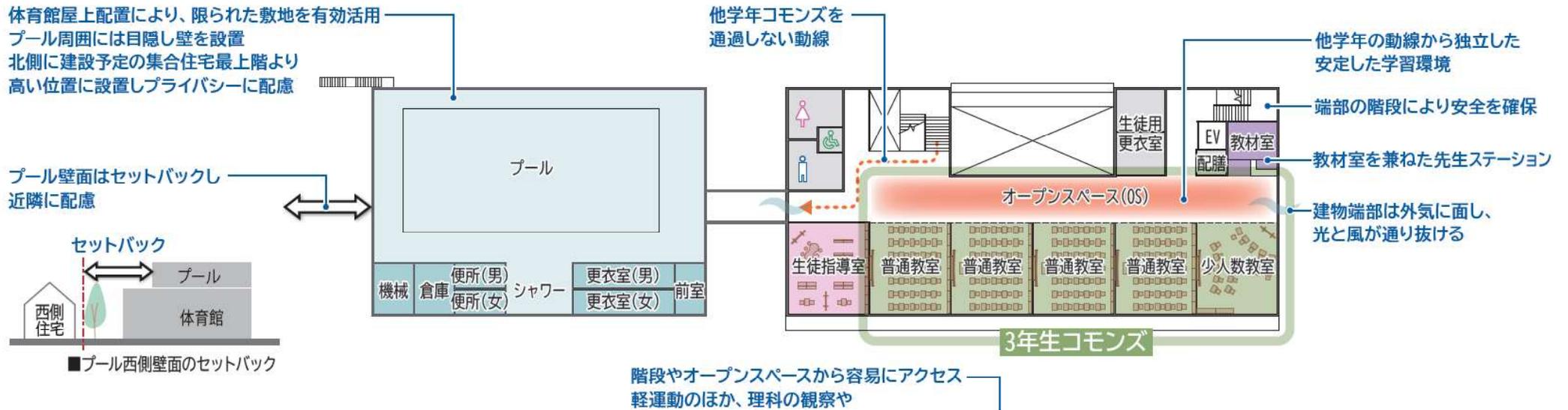
2階

# 平面計画



3 階

# 平面計画

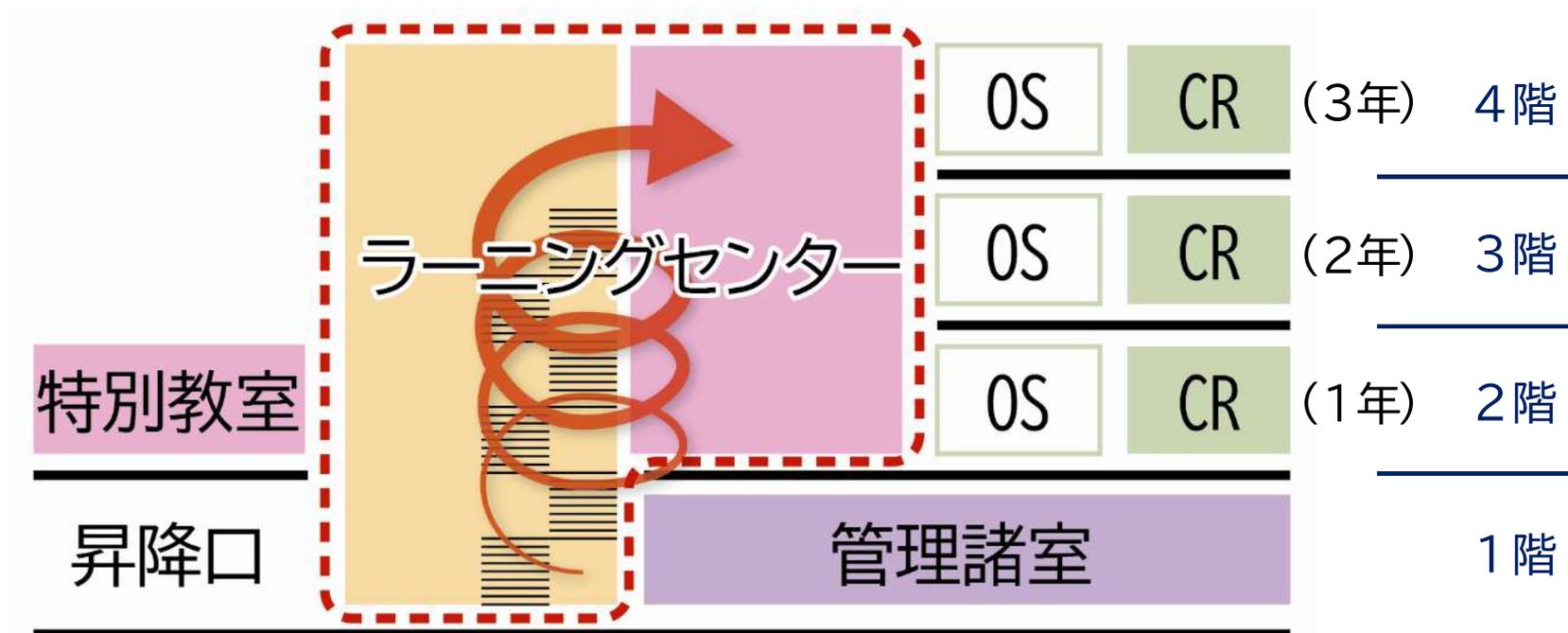


4 階

# ビジョン1

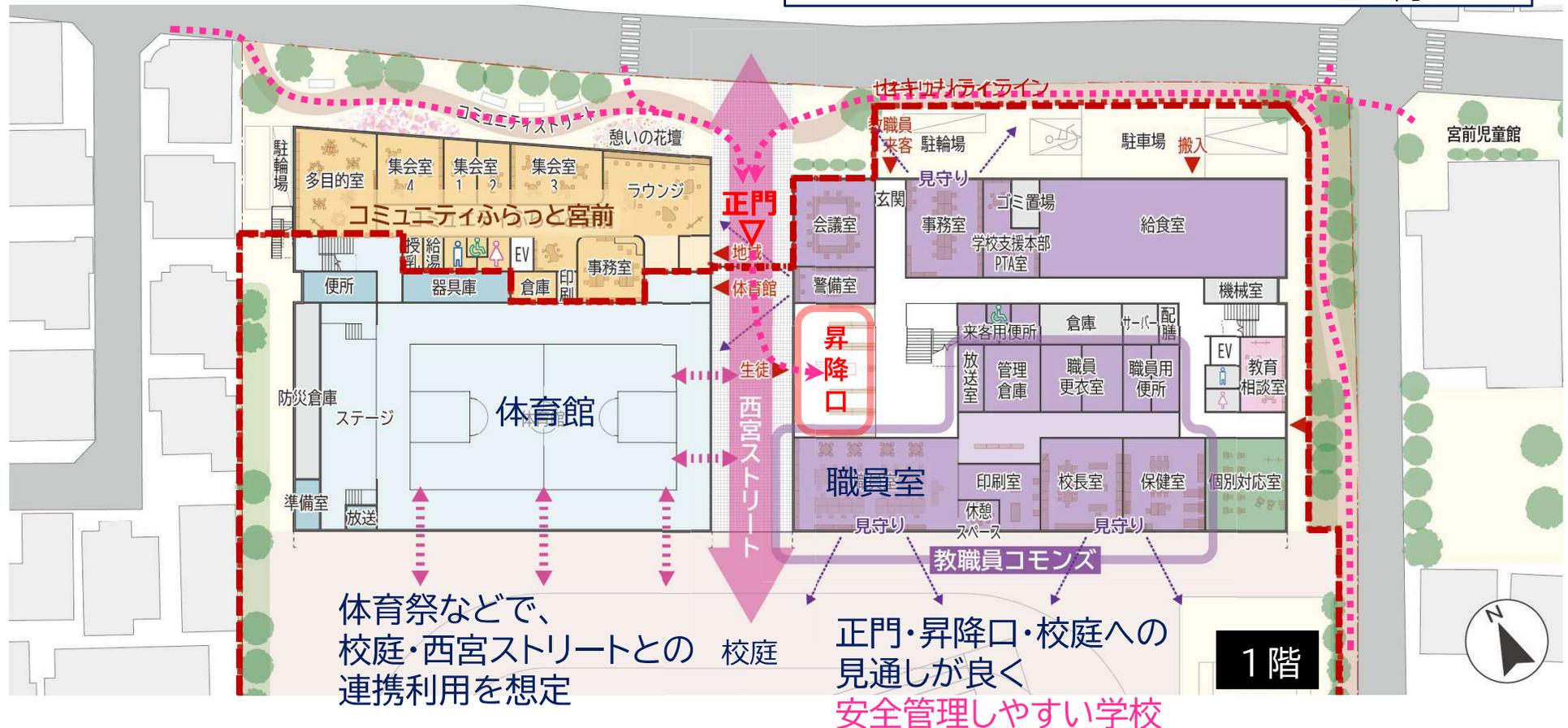
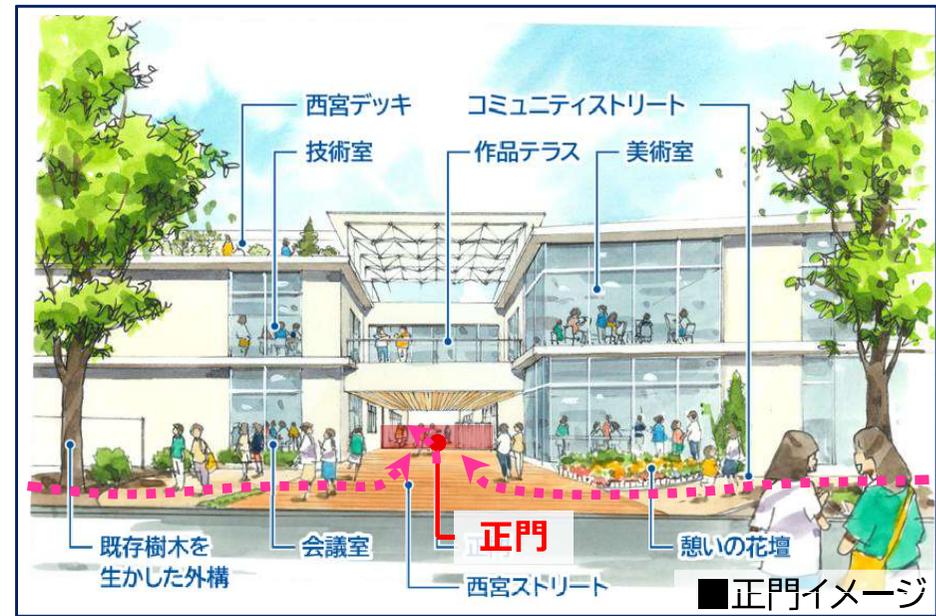
## 「ラーニングセンター」を中心とした学びの場づくり

「学びのコア」となる「ラーニングセンター」を  
日常的に利用しやすい学校の中心に配置



# ビジョン1

- ・正門は、今までと同じ北側
- ・正門から校庭をつなぐメイン動線  
賑わいがにじみ出す「西宮ストリート」
- ・コミュニティふらっと宮前は、  
学校セキュリティラインの外側に配置
- ・敷地内の安全な歩道状空地を確保

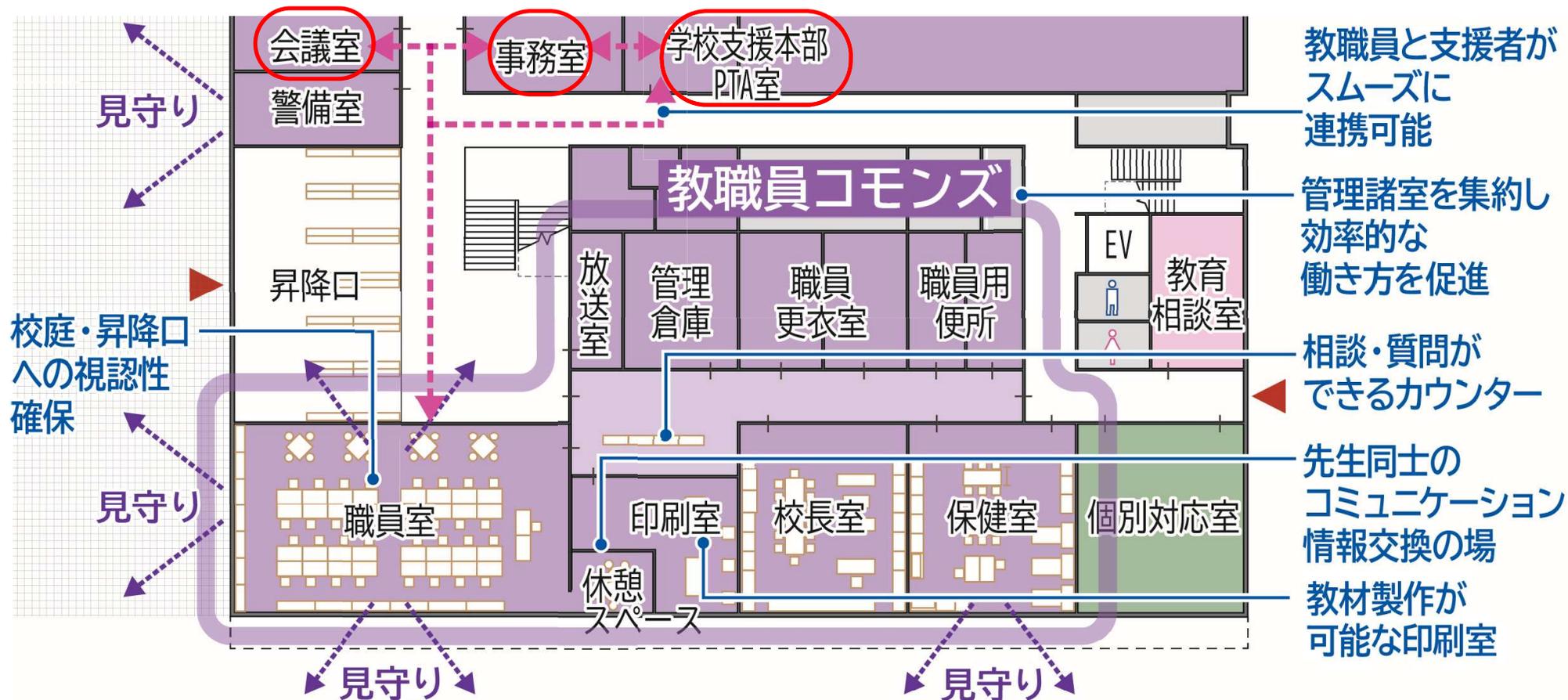


※図案は具体的な設計内容を示したものではありませんので、参考としてご覧下さい。

# ビジョン1

## 教職員の働きやすさを向上させる教職員 commons

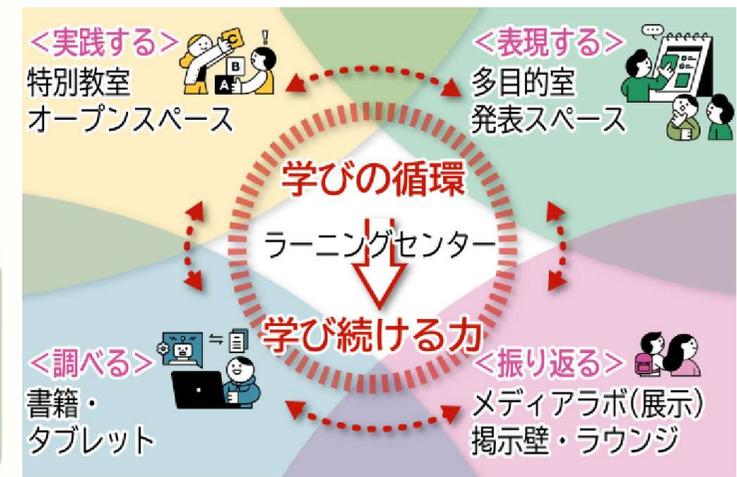
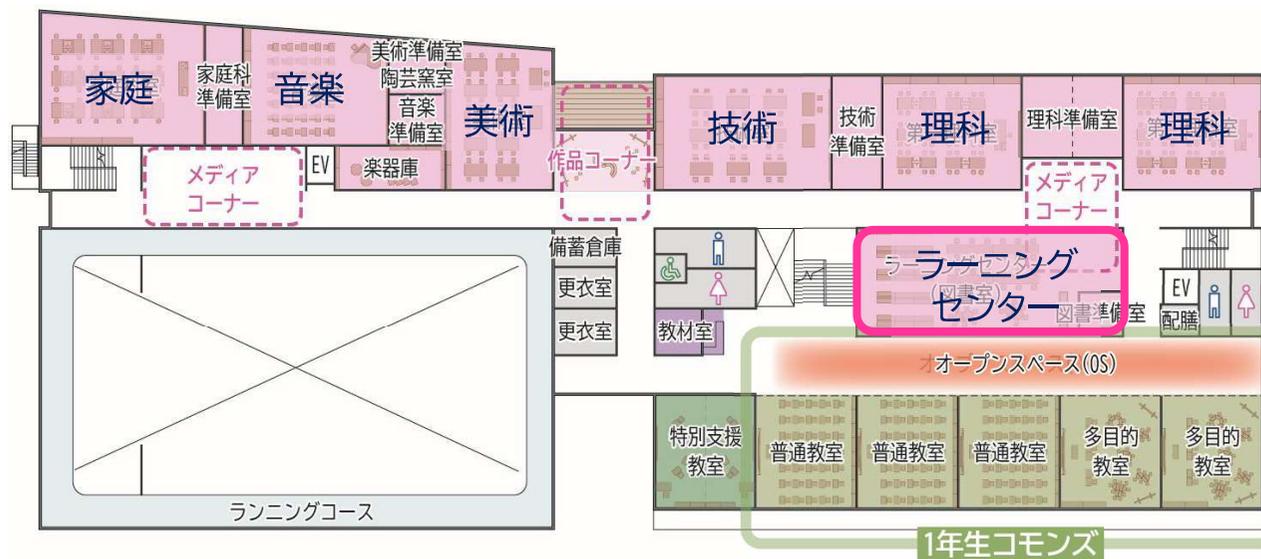
- ・機能を集約して、教職員の働きやすいオフィス空間づくり
- ・学校支援本部・PTA室など支援者の室は、先生と連携しやすいよう、教職員 commons の近くに配置



# ビジョン1

## 主体的で深い学びを追求する学校づくり

西宮中学校が目指す「自主・自律の教育」の実現に向けて  
「学びの循環」が連続的に展開される  
「主体的で深い学び」を誘発する学校づくり

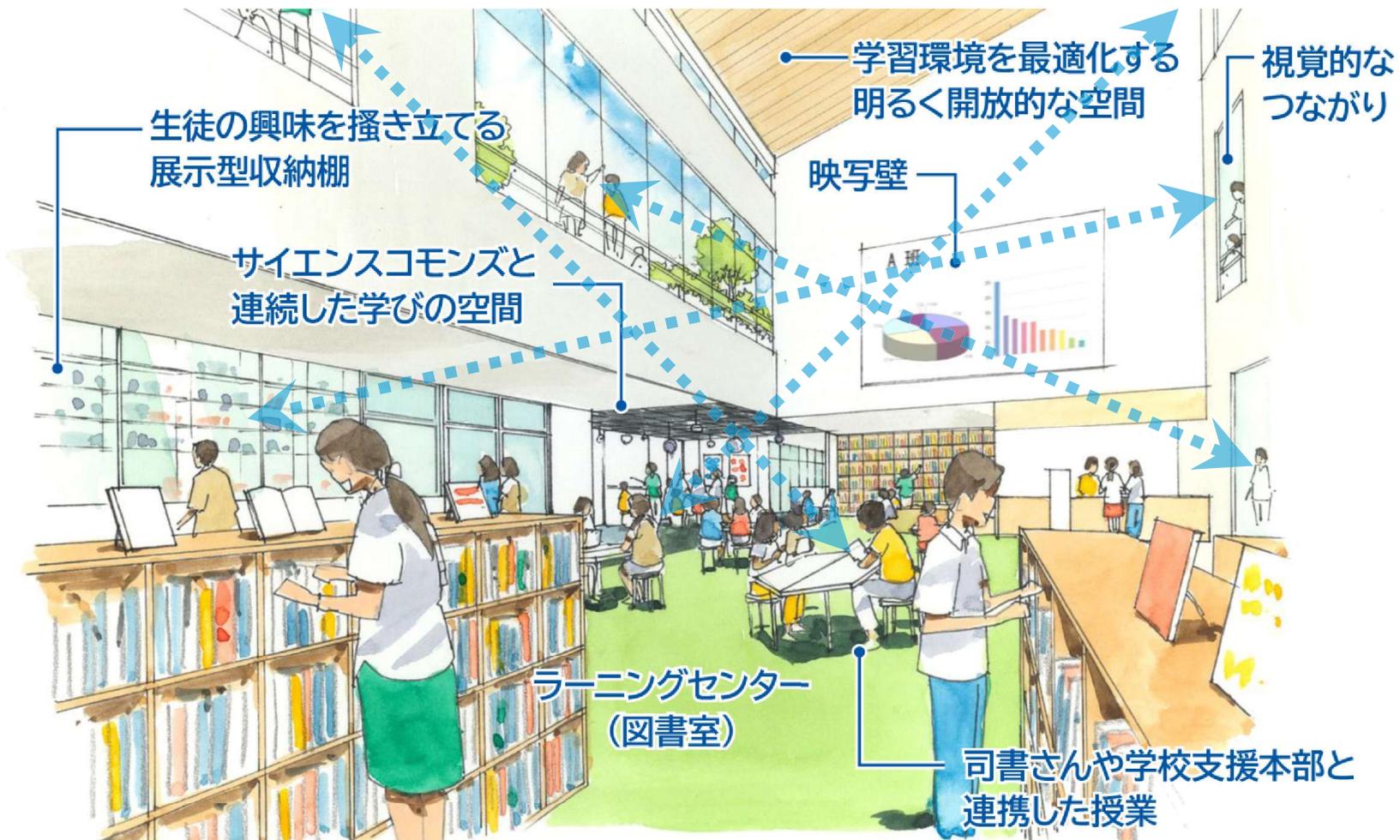


ラーニングセンターと全ての特別教室のある  
「主体的で深い学び」のメインフロア

2階

## 主体的で深い学びを追求する学校づくり

- ・吹抜で視覚的につながり、異学年の活動から刺激を受け、**主体的・自主的な学び**を促す
- ・グループワーク、自学自習スペース、ICT活用の発表空間など、生徒が**自己選択**できる、**多機能かつ多様な場**づくり



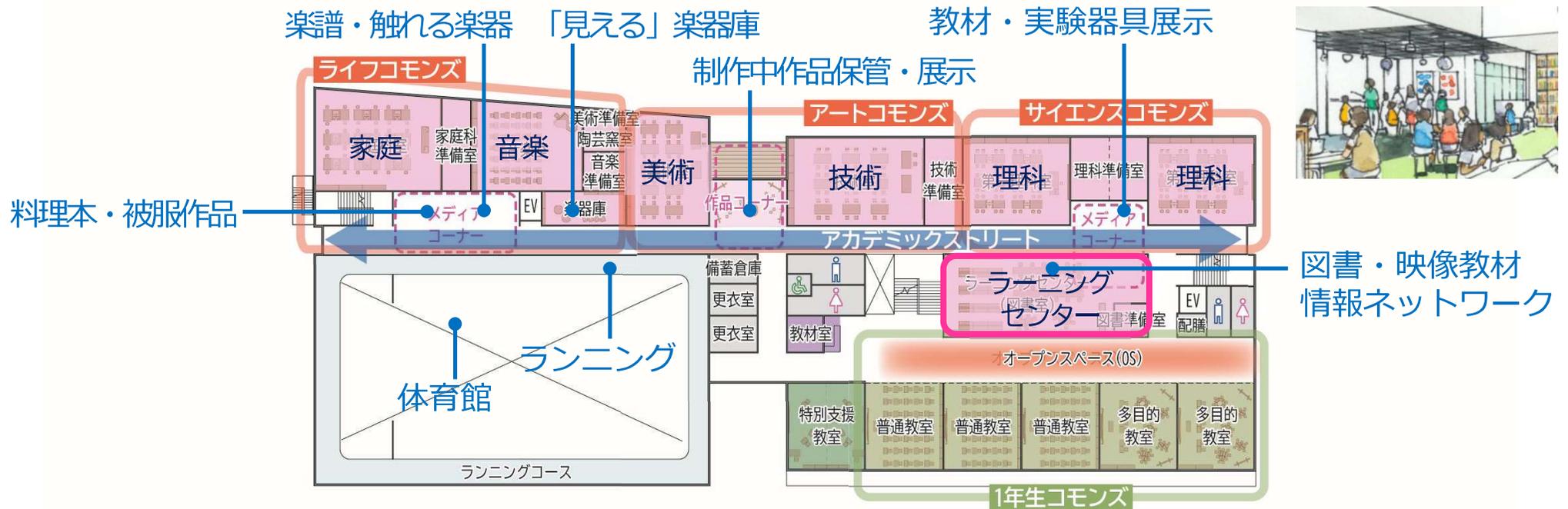
### ■ラーニングセンターのイメージ

※図案は具体的な設計内容を示したものではありませんので、参考としてご覧下さい。

# ビジョン1

## 専門教育の軸となる「アカデミックストリート」

- ・特別教室とラーニングセンターを「アカデミックストリート」が一体的に結びつける
- ・作品展示、映像教材、楽器に触れられるなど、教科横断的な学習環境づくり
- ・専門性の高い、知的好奇心をくすぐる空間で、「自ら学ぶ力」を育む  
⇒「自主・自律の教育」の実現を目指す



- ・アカデミックストリートは、  
西宮祭での展示発表会の場としての活用も想定

2階



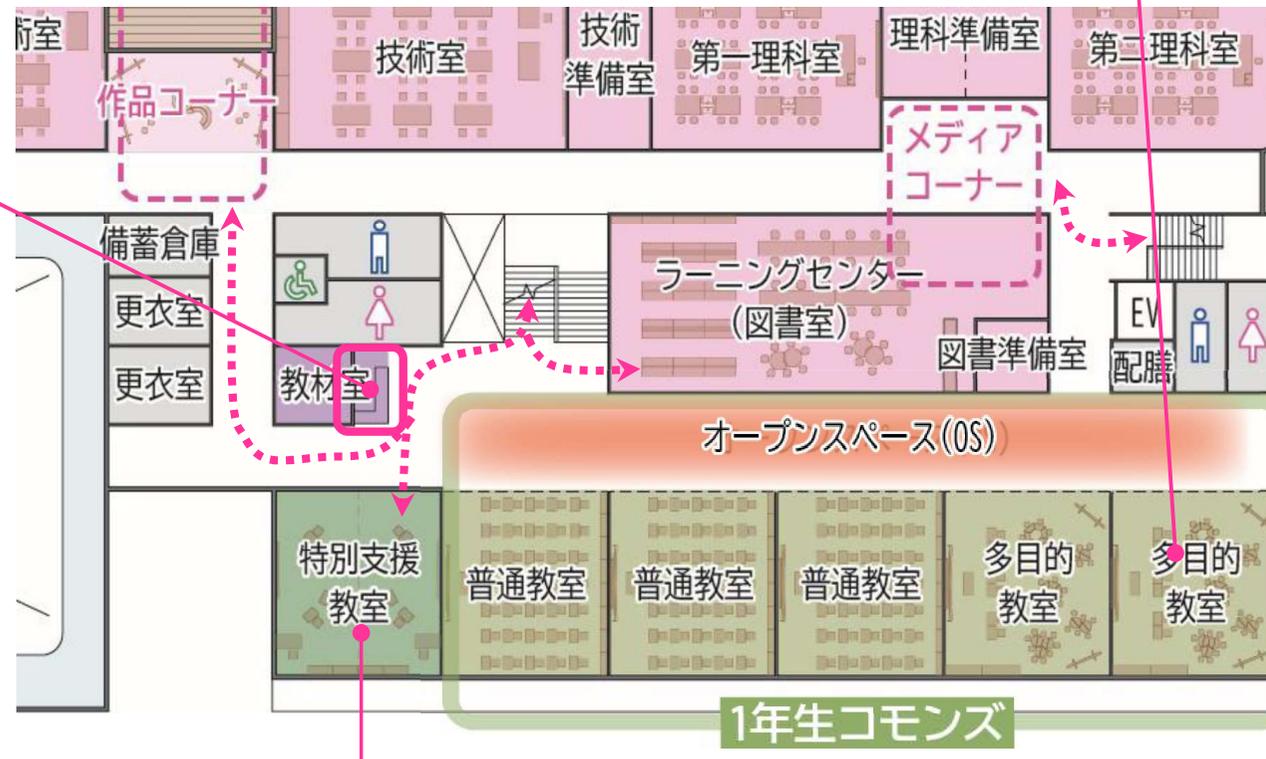
# ビジョン1

## 学年のまとめりと安定した学びを促す「学年commons」

- ・「学年commons」は、他の学年の通過動線とならないよう計画  
⇒ 学年commonsの安定した活動環境を確保
- ・多目的室は、普通教室と同じ大きさとする  
⇒ 生徒数が想定外に増加した場合の普通教室への転用
- ・移動間仕切りで2室を一体化できる計画  
⇒ 学年集会や、新たな教育施策にも柔軟に対応可能

・各学年commonsに「先生ステーション」を提案

教員だけでなく、将来、学習支援者の居場所・見守りの場にも



- ・インクルーシブ教育への配慮  
特別支援教室は、メイン階段のすぐ近くに配置  
支援が必要な全学年の生徒がスムーズに移動でき、共に学び合う環境を実現

# ビジョン1

## 学年のまとまりと安定した学びを促す「学年 commons」

- ・教室は、引戸でオープンスペース(OS)と簡単に一体利用できる計画  
⇒少人数のグループワークから学年単位の集会など、  
多様な学習形態に対応



## ビジョン2

### 学びを止めない 多機能型防災拠点

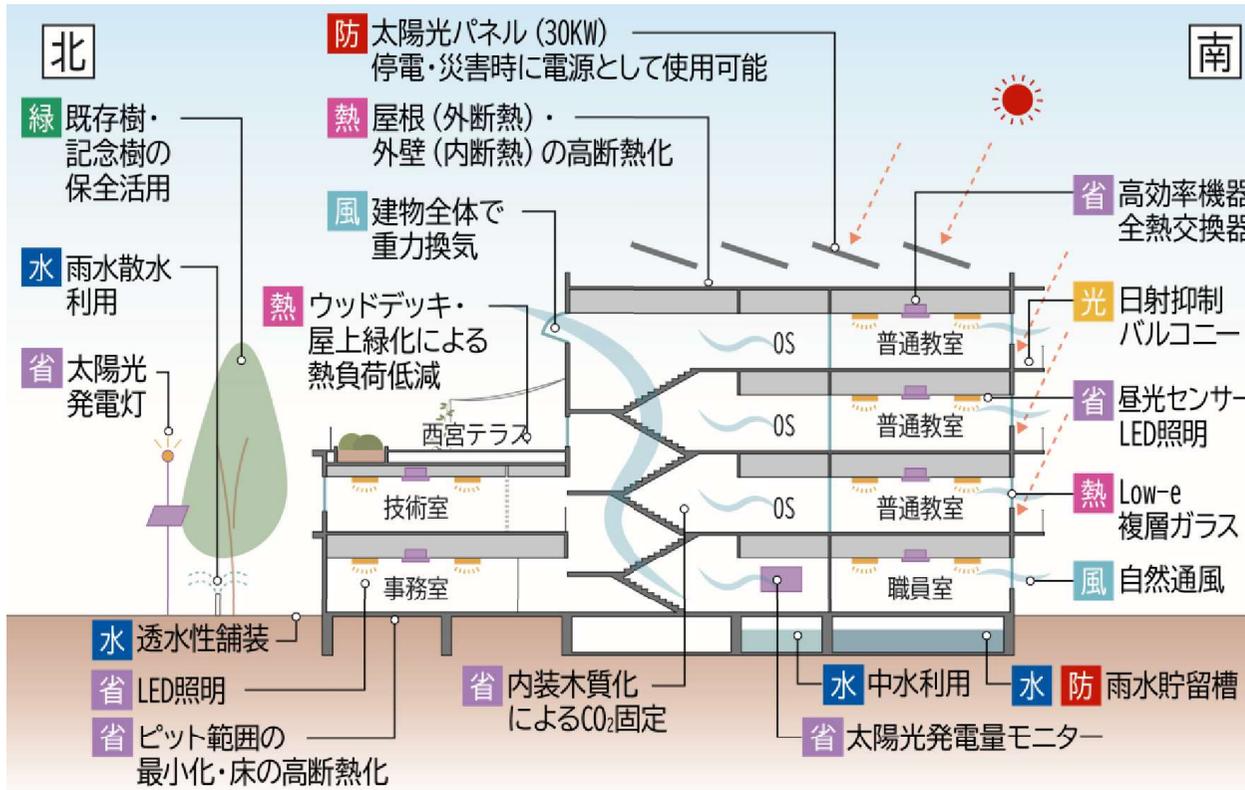
- ・避難所(体育館)の周辺に、かまどベンチなどの防災機能を集約
- ・小規模な部屋のあるコミュニティふらっとを「要配慮者用の避難所」として提案
- ・避難所エリアは西側、学校運営は東側、と明確に区分  
⇒避難が長期化しても、早期に授業再開が可能



# ビジョン2

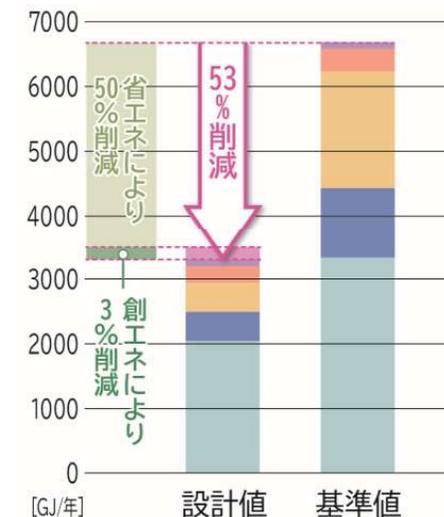
## 西宮中と宮前地域がともに育てるエコスクール(ZEB化について)

- ・自然通風・自然採光を効果的に取り込んで、環境負荷低減を図る
- ・施設特性を踏まえて、省エネ・再エネ手法を検討
- ・「施設特性」を踏まえた効果的な対策で、特別なコストをかけずにZEB Ready以上の認証取得を目指す  
(都内の学校でZEB Ready達成の経験も活かして)



項目	BEI
空調設備	0.61
換気設備	0.35
照明設備	0.28
給湯設備	0.87
昇降機	1.00
太陽光発電 (PV)	—
その他	—
判定 一次エネルギー消費量 (その他除く) ※創エネ含む	0.47
判定 一次エネルギー消費量 (その他除く)	0.50

空調設備 換気設備 照明設備  
給湯設備 昇降機 太陽光発電 (PV)



※図案は具体的な設計内容を示したものではありませんので、参考としてご覧下さい。



### ビジョン3

## 多世代交流による共育・共創を促進

今回の複合化で大切なポイントは、  
いかに、多世代交流が生まれるか、  
であると考えます。

### ラウンジ

生徒が自習できる席、高齢者が談笑しやすいエリア  
など各世代の居場所を共存、お互いの関心を生む  
⇒新たな学びの機会を広げる

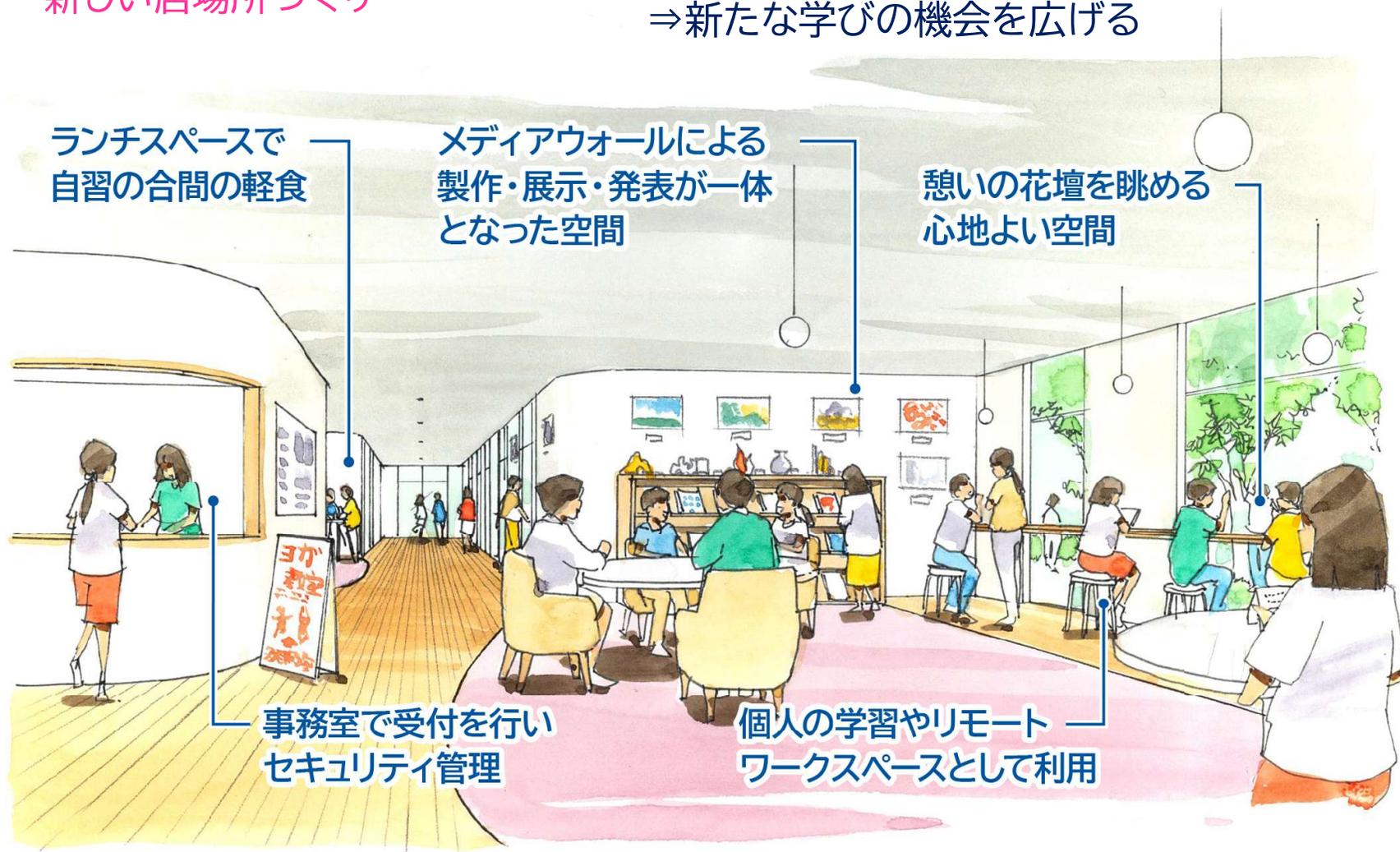


※図案は具体的な設計内容を示したものではありませんので、参考としてご覧下さい。

家庭、学校に次ぐ  
「第三の学びの場」となる  
新しい居場所づくり

### ラウンジ

生徒が自習できる席、高齢者が談笑しやすいエリア  
など各世代の居場所を共存、お互いの関心を生む  
⇒新たな学びの機会を広げる



ランチスペースで  
自習の合間の軽食

メディアウォールによる  
製作・展示・発表が一体  
となった空間

憩いの花壇を眺める  
心地よい空間

事務室で受付を行い  
セキュリティ管理

個人の学習やリモート  
ワークスペースとして利用

### ■コミュニティふらっと宮前の活動イメージ

敷地内の外部に、生徒と地域住民が共同で育てる「憩いの花壇」  
 を設けるなど、継続的な交流と自然との触れ合いを通じて、  
 世代を超えた協働の喜びを体験できる場を提供

